

- Löve, A. 1954: Cytotaxonomical evaluation of corresponding taxa.—Vegetatio 5-6: 212-224.
- 1955: Biosystematic remarks on vicariism.—Acta Soc. pro Fauna et Flora Fennica 72, 15: 1-14.
- 1960: Taxonomy and chromosomes—a reiteration.—Feddes Rept. 62: 192-202.
- Schott, H. G. 1857: Aroideen-Skizzen.—Oesterr. Bot. Wochenbl. 7: 62-63.
- Sokolovskaya, A. P. 1960: Geograficheskoye rasprostraneniye poliploidnykh vidov rasteny (issledovaniye flory o. Sakhalina).—Vestnik Leningrad. Univ. No. 21, Ser. Biol., Vyp. 4: 42-58.

### 摘 要

*Lysichitum* (または *Lysichiton*) 属は *L. camtschaticense* および *L. americanum* の 2 種より成る小さな属で、その分布域はそれぞれ北太平洋岸沿いに広がっている。両種は  $2n=28$  の染色体を持ち、外部形態上の区別も簡単につく。しかし雑種ができるところよりみると、両種間の sterility barrier は幾分弱い。Sterility barrier をもって種集団を区別するという考え方は重要ではあるが、これには多様な現象が含まれており、現在の段階では機械的に論じすることはできない。北太平洋地域には種集団の分化という見地より検討すべき恰好の材料が数多くあることを付け加えておきたい。

□大窪昌章遺作 北村四郎, 村田 源考定解説: 本草摺影 京都書院 30cm 版 7,500 図版 250 図 600 (IV 1961) 江戸後期における名古屋の本草家大窪昌章遺作の一部を撰たく複製したもので、解説と名称考定がついているので当時用いられた名称と現在のそれとの変遷過程がわかる。また種ごとに学名が考定してある。またあるものについては先輩があてちがいをしていた事実も明かにされ、まことに類例のない興味深い珍刊行物である。(久内清季)

□A. Pilát: *Gasteromycetes* 864 pp. 256 figs. チェコスロバキア科学アカデミー 87.50 クラウン (1958)—K. Cejp: *Oomycetes* I 480 pp. 168 figs. 52.50 クラウン (1959) チェコスロバキア科学アカデミーの Novák の監修による Flora ČSR は 4 種に分れ A は藻類, B は菌類及地衣類, C は蘚苔類, D は其他となって居り B(1), B(2) がそれぞれ上記の書となっている。新しい Taxa が盛られて居り、チェコ語である点が苦手であるが多くの挿図とラテン語による属の記載及種の索引が役に立つ。(小林義雄)